

社会の持続的な発展への貢献

～グループ丸となって、社会が抱える問題解決に取り組みます～

2010年度の主な取り組み	実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ●森林保全活動「つなぎの森」 ●災害義援金等への協力 ●現場密着の社会貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●6つの地域におけるグループ全体での森林再生に貢献 ●東日本大震災復興支援へのマッチングギフトによる募金活動の実施 ●小学生の料金所見学、地域活性化支援活動、地域と一体となったのり面の維持管理活動
<ul style="list-style-type: none"> ●西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部による社会貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ●産科医学生支援奨学金基金から産科医学生に奨学金を支給 ●助産師育成支援奨学金基金から助産師学生に奨学金を支給 ●認可外保育施設への支援

社会貢献活動の方針

NEXCO西日本グループでは、高速道路の重要な社会インフラとしての役割を果たすとともに、以下の方針の下で、会社と社員が協力して積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

- 1. 社会貢献の目的**
NEXCO西日本グループは、安全な暮らし、豊かな地球環境、安心と活力ある地域社会の実現に向けた取り組みを通じて、社会の持続的な発展に貢献します。
- 2. 活動方針**
活動にあたっては、地域社会との対話と交流に努め、これまで培ったノウハウや資源を生かしてグループ丸となった社会貢献活動に取り組めます。
- 3. 重点分野**
以下の3つの分野の活動に重点的に取り組みます。
 - ①**安全** 私たちは、地域の安全な暮らしを実現するため、交通安全活動、災害救援活動に貢献します。
 - ②**環境** 私たちは、豊かな地球環境づくりのため、地域の環境保全活動や道路事業に関連した環境技術の開発に貢献します。
 - ③**地域の元気**
 - 安心** 私たちは、高齢者、児童、障がい者等の方々地域で安心して暮らしていけるよう、医療・福祉など生活環境の均衡に資する活動に貢献します。
 - 活力** 私たちは、活力ある地域社会の自立的な発展のため、地域産業活性化や観光振興に貢献します。

県田辺市龍神村において取り組みを開始しました。さらに、中国、四国、九州の各地域でも取り組みが始まり、各地のグループ社員とその家族が環境保全に参加しています。

▼各地の森林保全活動

地域	活動場所	自治体	面積 (ha)
関西地区	つなぎの森「南紀龍神」	和歌山県	約11
中国地区	つなぎの森「とっとり西伯」 つなぎの森「ひろしま三原」	鳥取県 広島県	約5 約15
四国地区	つなぎの森「四国いの町」	高知県	約20
九州地区	つなぎの森「湯布院」 つなぎの森「えびの」	大分県 宮崎県	約5 約8



つなぎの森「とっとり西伯」(中国地区での取り組み)

災害義援金等への協力

大規模災害に対し、日本赤十字社を通して、グループ社員の募金に会社からの寄付を上乗せするマッチングギフトを中心に義援金の寄付を行っています。2009年度以降は、下記の災害に対して社員とのマッチングギフトを活用した募金活動を行いました。

▼社員とのマッチング等による災害支援 (2009-10年度)

災害時期	名称等	募金金額(千円)	
		社員分	会社分
2009.8	大雨災害(中国・九州北部)義援金	5,610	5,600
2009.8	台風9号災害(兵庫県・岡山県)義援金	3,610	3,500
2010.1	ハイチ大地震救援金	2,963	3,000
2010.4	宮崎県口蹄疫被害義援金	3,218	3,200
2011.3	東日本大震災義援金(グループ社員を含む)	23,000	23,000
2011.3	東日本大震災義援金(グループ会社計)	—	112,400

森林保全活動「つなぎの森」

NEXCO西日本グループは、植樹、間伐などによる森林再生を目指す自治体の取り組みを支援することで、樹木が持つCO₂吸収効果により地球温暖化の防止に貢献し、森林荒廃の抑制により土砂災害防止や多様な動植物の生息環境保全にも貢献します。2008年度に関西地域の和歌山

社会貢献活動

社員の社会参加活動支援

NEXCO西日本は2010年10月から11月の期間、「ボランティア月間」を設定して社員の自主参加による社会貢献活動を行いました。沿線地域で社員の社会参加を活性化するため、ボランティア入門講演会を開催し、各地のボランティア協会等の情報協力を得ながら、参加社員が自主的な社会貢献活動に取り組みました。

また、2011年3月に発生した東日本大震災の被害に対し、16年前の阪神淡路大震災で道路復旧や地域復興を経験した社員を中心とする「復興支援チーム」を仙台市周辺の被災現場に継続的に派遣し、津波被害に遭われた家屋の瓦礫撤去、泥上げなどの災害ボランティア活動を行っています(2011年6月末現在の参加人数:延べ240人・日)。

現場での活動を通して、被災地域の早期復興を支援するとともに、災害対応力の向上に資する経験を蓄積し、今後の大規模災害に備える体制構築に生かしていきます。



災害ボランティア活動状況

現場密着の社会貢献活動

出張学習会(教育支援)の実施

NEXCO西日本グループでは、子どもたちの教育支援も重要な課題ととらえ、積極的に取り組んでいます。料金所の見学や職場体験のほか、周辺の小学校を対象とした出張学習会などを実施しています。普段は見ることのできない施設を見学したり、実験を織り交ぜた事業の説明をしたり、高速道路事業に関することを学んでいただきました。



出張学習会の様子

▼教育支援活動の一例

実施方法	内容	対象者	参加人数
現地見学会	高知高速道路事務所の見学	小学生	19
職場体験	福山管理事務所での管理業務・テナント業務の体験学習	中学生	2
現場見学会	筑後小郡料金所の見学	小学生	17
職場体験	津田寒川料金所での業務体験	中学生	3
出張学習会	京都工事事務所による高速道路建設の事業説明	小学生	130
現場見学会	倉敷料金所の見学	小学生	11

地域イベントを通じた協働による活性化支援・交流促進

福山東・西料金所では、福山市観光協会の協力依頼を受けて、毎年、地域の観光資源である「観光鯛網」の実施に合わせて鞆の浦の鯛網ハッピーを着用し、積極的に地域イベントを盛り上げています。また、同時期に開催される「福山バラ祭り」についても、福山市の玄関口となる高速道路インターチェンジで案内チラシを配布するなど、地域活性化の支援、交流促進に取り組んでいます。



地域の玄関口として笑顔で対応

ハッピーを着て地域観光を応援

高速道路施設の沿線との一体利用

高速道路施設を沿線住民の方と一体となって維持管理することにより、地域の皆さまにもメリットを享受していただくという取り組みを関係者の力をお借りして始めています。大分自動車道では、沿線の雄大な景観と調和できるよう大分森林組合が提唱する「山桜日本一の里づくり」事業とタイアップし、高速道路の盛土のり面の維持管理を関係者と協働で実施しています。

樹種の選定においても関係者の皆さまと協議させていただくなど地域景観との調和を実現し、地域の皆さまの声を生かした道路管理にもなっています。



地域住民と一体となって盛土のり面を維持管理

お客さま

社会

投資家・国民の皆さま

社員

お取引先

環境保全

社会貢献

西日本高速道路 エリア・パートナーズ倶楽部による社会支援

NEXCO西日本グループの一員である西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)は、SA・PAで事業を行っているテナント50社(2011年3月末現在)と共同で、多様な社会問題解決に向け「地域とともに歩み、地域に暮らす人々が皆幸せで充実した安全な暮らしができる社会の実現」と「海外で病気や怪我に苦しむ人たちに希望の光を届ける活動」を目指し、6つのテーマに沿った支援を実施しています。2010年度は、2009年度に引き続き少子化対策としての産科医学生・助産師育成支援、障がいを持つ方々への支援、地域の活性化や人々の交流を促す活動支援、自然と共生し環境を守り愛する活動支援、海外医療活動の支援など総額約17,000万円に上る支援を実施しました。

社会貢献活動 6つのテーマ

1. 安心して子どもを生み育てられる社会の実現に貢献
2. 障がいを持つ方々が健常者と同質な生活を送るための支援
3. 地域の活性化や人々の交流を促す活動を支援
4. 自然と共生し、環境を守り愛する活動を支援
5. 事故や災害に備える活動や被災者の救済に貢献
6. 海外での医療活動等を支援

産科医学生支援・助産師育成支援

医師不足が深刻化する中、「産科医師」が激減する地域が次々と出ています。このような現状を踏まえ、2007年度から産科医学生支援奨学基金を立ち上げ、2008年度からは助産師育成支援奨学基金を立ち上げました。産科医学生支援奨学基金とは、将来西日本で産科医療に携わる意思を持つ学生のために、医学部を有する西日本の24府県から、推薦を受けた医学部5～6年生を対象に年間100万円を2年間学資支援するものです。また、助産師育成支援奨学基金とは、西日本の助産師学校に通う学生を対象に年間50万円を1年間学資支援するものです。2010年度は、34名の産科医学生、24名の助産師学生に奨学金の支給を行いました。



周産期支援を通じて安全・安心な出産に貢献

青少年の健全育成支援

家庭に引きこもりがちな青少年や体力の低下している子どもたちが、スポーツを通じて喜びを体験することにより、仲間との連帯や友情を育て人間性豊かに成長してほしい、その活動が地域の活性化にもつながってほしいとの考えから(財)神戸市体育協会、(財)福岡県体育協会およびNPO法人ホークスジュニアアカデミーなどに「ふれあいスポーツ教室」開催費を支援しました。



NPO法人 ホークスジュニアアカデミーによる野球教室の様子

災害救助犬育成支援

災害などで人命を救助するレスキュー犬は、非常時の人命救助に極めて有効な活動手段ですが、レスキュー犬の育成団体は、運営費のほとんどが街頭募金と有志による寄付金で賄われているのが現状です。このような現状を踏まえ救助犬を育成するNPO法人日本レスキュー協会とNPO法人九州救助犬協会に救助犬2頭当たりの育成費用を支援しました。



災害救助犬の活動の様子

海外医療活動支援

海外で医療活動を行う方々に共感し、支援を行っています。2007年度から、アフリカのスーダン共和国で医療活動を行っているNPO法人ロシナンテスを支援しています。また、内閣府「野口英世アフリカ賞基金」へ寄付を行いました。



ロシナンテスの活動風景(撮影:内藤 順司)

働く女性の子育て支援

働きながら子育てを行っている女性にとって夜間・休日保育や一時預かりなどは高いニーズがあります。認可外保育施設は、そうした制度などの隙間を埋めるサービスを提供しているにもかかわらず、公的支援もほとんどないため、2009年度から支援を開始しました。

▼主な支援先(2010年度)

支援項目	内容	支援先
周産期支援	・産科医学生奨学金の支給 ・助産師育成支援奨学金の支給 ・助産所開業研修支援	(財)大阪コミュニティ財団を通じて支援 (社)日本助産師会 (社)日本産婦人科学会
子育て支援	・新生児を持つ母親の電話相談事業支援 ・乳児院の支援 ・働く女性の子育て支援	(社)日本助産師会 (社)社会福祉協議会を通じて乳児院を支援 認可外保育施設を支援
高齢者支援	・車いす、福祉車両寄贈 ・ケアハウスの支援	介護老人保健施設 NPO法人ホームホスピス宮崎など
障がい者支援	・補助犬の育成支援 ・障がい者の自立への支援	(公財)関西盲導犬協会 (社)兵庫盲導犬協会 (財)日本盲導犬協会 NPO法人トゥギャザーなど
子どもの健全育成支援	・スポーツを通じた子どもの健全育成支援	(財)神戸市体育協会 (財)岡山県体育協会 (財)愛媛県体育協会 (財)福岡県体育協会など

その他の支援

- ・地域活性化に役立つ団体の活動を支援
- ・琵琶湖保全活動支援
- ・救命活動を行っている団体を支援
- ・海外での医療活動を支援

「高速道路関連社会貢献協議会」による活動

2005年度から、高速道路をご利用されるお客さまなどに対する安全性、信頼性およびサービス向上を図るための社会貢献事業を行うための実施機関として「高速道路関連社会貢献協議会」を発足しています。趣旨に賛同していただいている会社および有識者等とNEXCO東日本・中日本・西日本が協力して、以下の事業を推進しています。

▼主な活動内容

主な取り組み	実施内容
高速道路の高度な交通事故対策、災害防止対策、救命救急対策の実施への支援	・AED整備の拡充と講習 ・ドクターヘリ救急支援 ・逆走防止装置の検証支援
障がい者・高齢者・幼児などを含むお客さまサービス向上への支援	・休憩施設へのオストメイト対応トイレ整備 ・お手洗い施設のバリアフリー対策
高速道路のきめ細かい環境保全対策などへの支援	・太陽光発電等の自然エネルギーの利活用 ・電気自動車の急速充電設備の設置および検証支援
社会・地域などによる高速道路の理解・活用への支援	・高速道路バスストップの有効活用の支援 ・交通事故、災害対策等の研究助成 ・地域美化活動や道路見学会等への地域連携活動の支援

大きな麦畑に なることを願って

西日本高速道路
エリア・パートナーズ倶楽部 副会長
(株)京阪レストラン 代表取締役社長

足立 忠幸



西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部は2007年4月の発足から5年目を迎え、皆さまのご支援により少しずつながらも成長しているところでございます。

私どもの活動は、一つの企業だけでは実現しがたいことでも同じ志を持って活動することにより実現性が高められ、社会に貢献できることを物語っています。

この活動が多くの皆さまに理解されることで「一粒の麦(善意)」が育ち、やがて大きな麦畑に広がっていくことを会員一同期待しています。

お客さま

社会

投資家・国民の皆さま

社員

お取引先

環境保全

社会貢献